

(仮称)大住土地区画整理事業

1. 大住土地区画整理事業

京田辺市大住工業用地拡大事業・(仮称)大住土地区画整理事業は、平成19年春に「大住地域の明日を考える会」として権利者組織が発足し、平成22年春には、大住土地区画整理組合設立準備委員会」として取り組んでまいりました。

そして、平成23年3月には事業パートナーとなる都市計画専門家集団として地元の牧草コンサルタンツ株式会社を選定して事業計画等の検討を進め、去る10月20日の準備委員会役員会において、約15.3haの区域を対象として鋭意事業化に向けた検討を行うことが確認されました。

新名神高速道路の南側に位置し、防賀川及び府道八幡木津線に挟まれた形の計画区域は、「市街化調整区域」であり、農地の多くが農用地区域に指定されています。

図-1に地域概況を、表-1に地目別の土地利用現況を示します。

表-1 土地の種目別現況

種目	種別	地積 (m ²)	割合	筆数
道路等	道路	7,279.22	4.7	81
	計	7,279.22	4.7	81
宅地	田	83,537.08	54.4	88
	畑	61,309.70	39.9	97
	原野	95.00	0.1	1
	雑種地	1,301.00	0.8	1
	計	146,242.78	95.3	187
総計		153,522.00	100.0	268

※地区面積総計は地区界確定前の概数です。

2. 構想概要

新名神高速道路計画地の北側での計画的な市街地整備事業は平成16年に竣工し、同計画地を挟む南側において、土地区画整理事業を計画しているものです。

府道八幡木津線沿道に大住工業地域が広がっていることから、当該地区においても工業専用地域を主とし一部に工業地域を想定しております。

雨水排水の放流先である「防賀川」にあっては、京都府における治水計画に基づくことはもちろん、地域住民への安心安全の観点から十分な排水対策を講じることを検討してまいります。(詳細は関係機関と更に協議いたします。)

計画区域変更前後の基本的な構成案は右に示すとおりであり、計画地区面積は約12.7haであったものが、約15.3haとなるものです。

図-1 位置

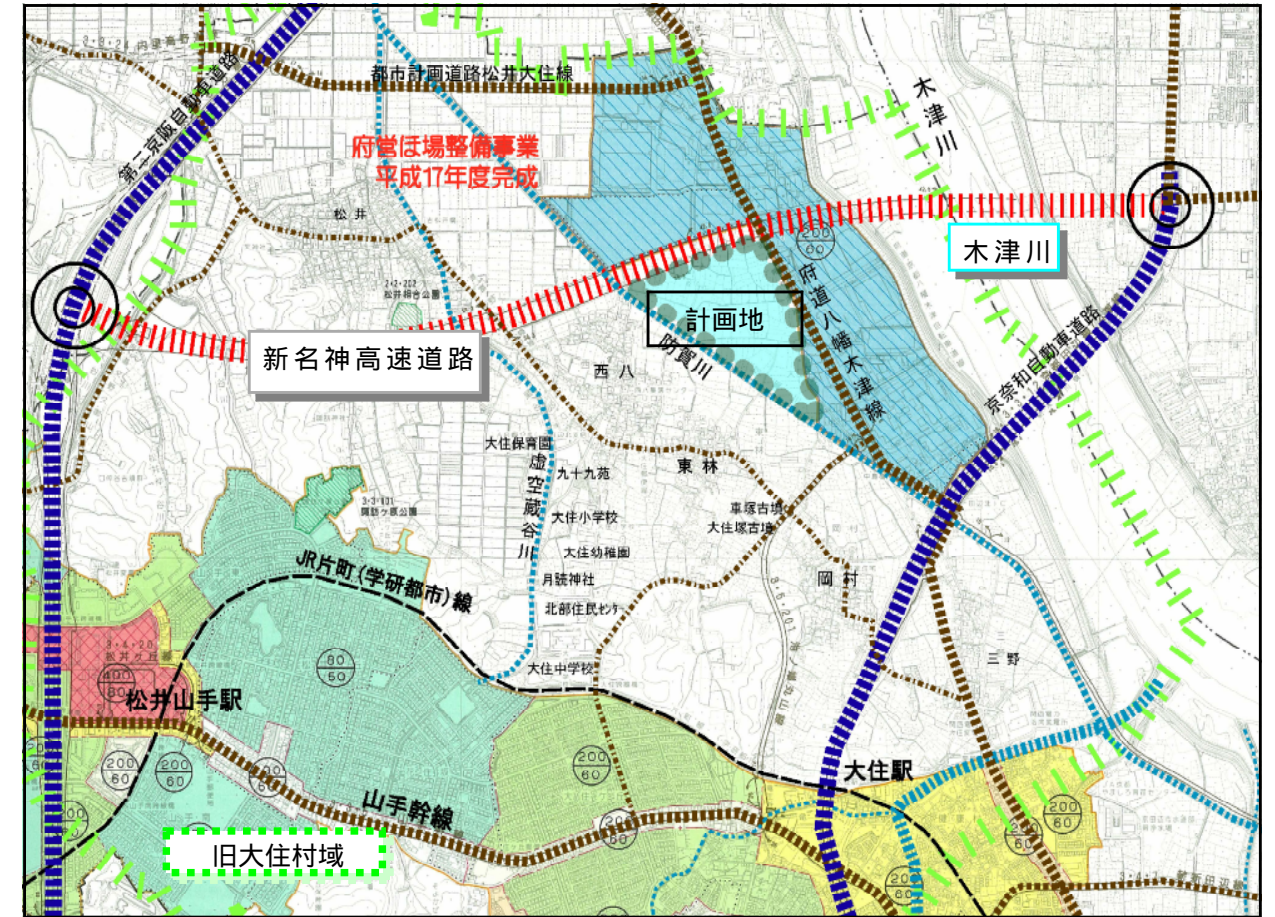


図-2 変更前 (約 12.7ha)

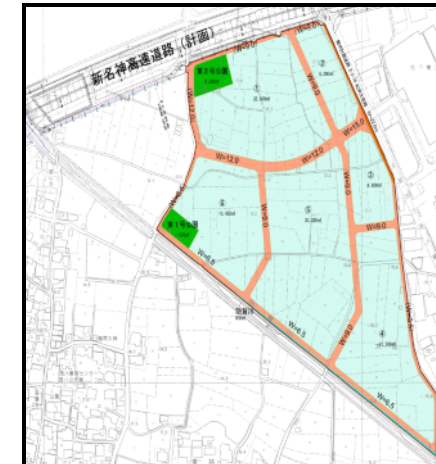
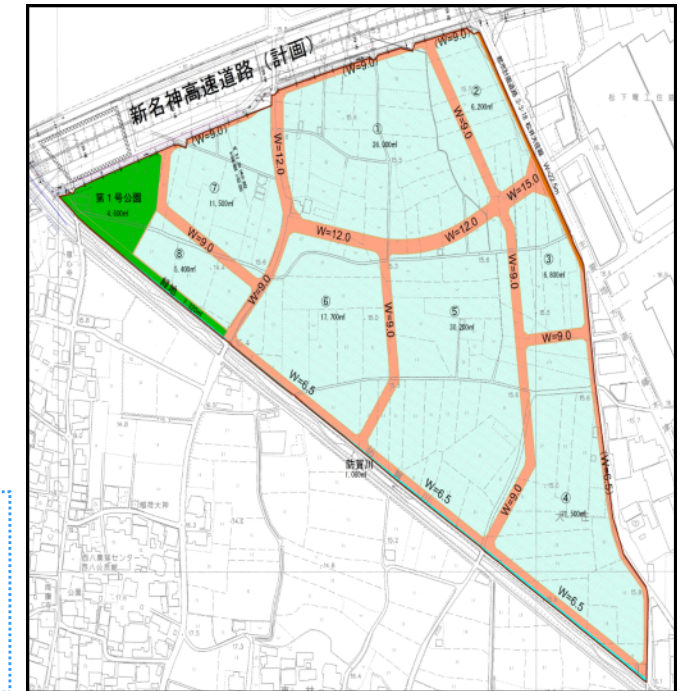


図-3 変更後 (約 15.3ha)



*参考 変更前区域における事業計画推進に係る同意率はこの8月末現在で、権利者数比92%、土地面積比86%であり、農用地解除申出割合は同じく、85%、82%でした。